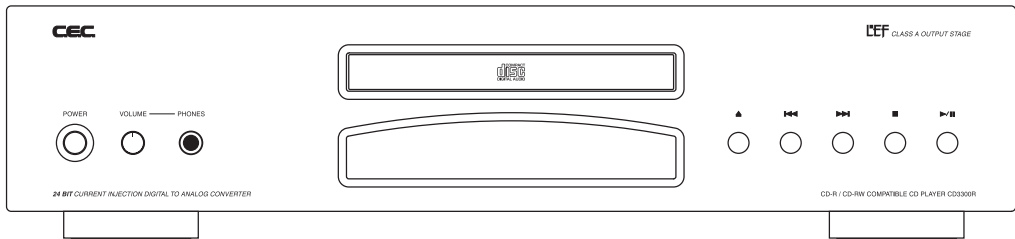


CD PLAYER

CD3300R

取扱説明書



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

C.E.C.

もくじ

| | |
|-----------------|----|
| ●CD3300Rの主な仕様 | 3 |
| ●安全上のご注意 | 4 |
| ●コンパクトディスクについて | 8 |
| ●取り扱い上のご注意 | 9 |
| ●フロントパネルの機能 | 11 |
| ●リアパネルの機能 | 12 |
| ●演奏の仕方 | 13 |
| ●リモートコントロールユニット | 14 |
| ●リモコン操作について | 15 |
| ●保証とアフターサービス | 18 |

主な仕様

| 〈オーディオ〉 | |
|--------------|--|
| 再生可能ディスク | 一般音楽CD, ファイナライズ済み音楽用CD-R/RW |
| 周波数特性 | 20Hz～20kHz ±0.3dB |
| S/N比 | RCA: 92dB, XLR: 101dB (FLAT) |
| 高調波歪率 | RCA: 0.01%, XLR: 0.008% |
| チャンネルセパレーション | RCA: >95dB, XLR: >105dB |
| ダイナミックレンジ | 95.5dB |
| 〈DAC〉 | |
| DAC | バーブラウン社製 PCM1796 × 1 |
| 〈出力〉 | |
| アナログ出力 | RCA × 1 (2Vrms) XLR / 2番ホット × 1 (4Vrms) |
| デジタル出力 | TOS LINK × 1 COAXIAL × 1 AES/EBU (XLR / 2番ホット) × 1 |
| 〈一般〉 | |
| 電源 | AC100V 50Hz / 60Hz |
| 消費電力 | 10W |
| 外形寸法 | 435(W)×310(D)×101(H)mm (レッグ・端子含む) |
| 質量 | 4.6kg |
| 付属品 | ACコード(1)、リモコン(1)、 単4乾電池(2)、取扱説明書(1)、保証書(1) |
| カラー | シルバー, ブラック |

※仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

※製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが一部製品と異なる事があります。
予めご了承ください。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全にお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、けがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性があります。

注意を促す記号



一般的な注意



感電注意

してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

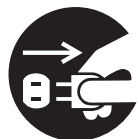


禁止



分解禁止

必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号



電源プラグを
コンセントから抜く

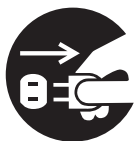


一般的な強制



警告

万一、次のような異常が起きたら…



- ・煙が出たり、変なおいや音がする。
- ・機器の内部に異物や水が入った。
- ・落としたり、キャビネットを破損した。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。

- ・電源コードを傷つけない。
- ・電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
- ・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。

コードが破損すると、火災、感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。

- ・電源プラグにほこりをためない。

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災、感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

- ・通風孔をふさがない。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・通風孔に異物を入れない。

内部に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると、火災、感電の原因となります。




- ・機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。

内部に水が入ると、火災、感電の原因となります。




安全上のご注意(つづき)

警告

| | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">表示された電源電圧(交流 100ボルト)で使用する。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外では使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災、感電の原因となります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">この機器のカバーは絶対に外さない。 カバーを開けたり改造すると、火災、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">この機器のカバーを開けたり、内部に手を入れない。 この表示部分に手を近づけたり触れたりすると、感電やけがの原因となります。 |

注意

| | |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。 |
| | <ul style="list-style-type: none">電源を入れる前には、音量を最小にする。 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。 |
| | <ul style="list-style-type: none">電池を入れるときは(+)と(-)の向きに注意し、機器の表示通りに入れる。 極性を間違えると電池の破裂、液漏れによって、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
| | <ul style="list-style-type: none">長期間(一ヶ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておく。 電池の液漏れによって、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。液漏れをおこしたときは、電池ボックスに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。 |

注意

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
- ・湿気やほこりの多い場所に置かない。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所に置かない。

火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・電源コードを熱器具に近づけない。

コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となります。

- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

必ずプラグを持って抜いてください。

- ・指定以外の電池は使用しない
- ・新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。
- ・電池を加熱、分解、充電したり、火や水の中に入れない。

液漏れによって、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ・旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- ・お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜く。

感電の原因となることがあります。

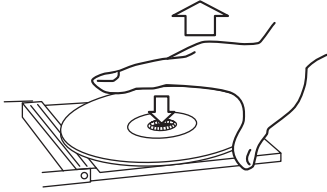
- ・移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

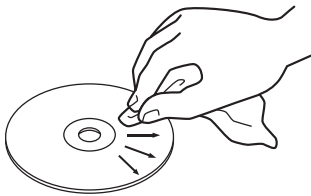


コンパクトディスクについて

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットして下さい。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

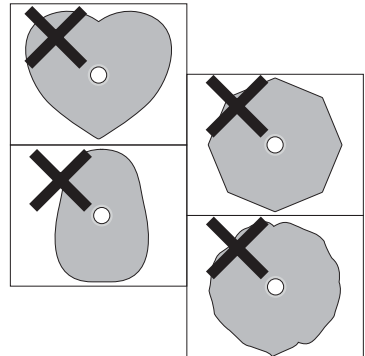


- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- 信号録音面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクはいつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。
- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



●CD-R/RWディスクの取り扱い

- 本機はファイナライズ済みのCD-R/RWの再生にも対応しています。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

ご使用前に

- 本機を使用する前に、この取扱説明書を必ず読んで正しくご使用ください。また、外装箱や梱包材は再輸送の際に必要ですので、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。
- 電源プラグは、異常が発生した時にすぐに抜けるような場所にあるコンセントに差し込んでください。

使用上のご注意

1. 他の機器と接続するとき

- ・他の機器と接続するとき、または接続を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

2. 電源電圧はAC100V

- ・定格電圧100Vでご使用ください。また、電源コードは大切にお使いください。特に、コンセントから外すときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・本機は、国内電源AC100V 50/60Hzの範囲でお使いください。この電圧以外でのご使用は保証対象外となります。

3. 光ヘッド(半導体レーザー)

- ・光ヘッドは、CDプレーヤーの性能を決める重要な部分のひとつです。触れないようにしてください。光ヘッドの表面をきれいに保つために、CDプレーヤーをご使用にならないときは、ディスクトレイを閉めておいてください。

4. スタビライザーは使用しない

- ・市販のCD用スタビライザーは絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

5. 取り扱いはていねいに

- ・スイッチやツマミ、キャビネットなどに無理な力を加えることは避けてください。

6. お手入れについて

- ・お手入れは、必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。
- ・本機をベンジン、シンナー系の液体で拭いたり、化学ぞうきんを使ったり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することは避けてください。

取り扱い上のご注意(つづき)

7. 設置場所について

次のような場所で長時間ご使用になりますと、音質が悪化したり故障などの原因となります。

- ・窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)、または温度の特に低い場所(周囲温度0℃以下)では、製品の正常な機能を維持できない場合がありますので避けてください。
- ・湿度の多い場所(湿度90%以上)では金属部分にサビを生じたり故障の原因となります。
- ・ほこりの多い場所はスイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になり、性能を損なうことがあります。
- ・結露が発生した場合、一時的に正常動作をしないことがあります。
- ・その他、トランスやモーターの近くの設置は誘導ハムをひろう原因となりますので、離して設置してください。また、振動の多い場所も避けてください。

8. 落雷に対する注意

- ・落雷の恐れのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜き取ってください。

9. 水に濡れたら

- ・万一雨が降ったり、花瓶などの水をセットにこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。この状態で電源を入れた場合、感電の恐れもあり危険です。また故障の原因となりますのでご注意ください。

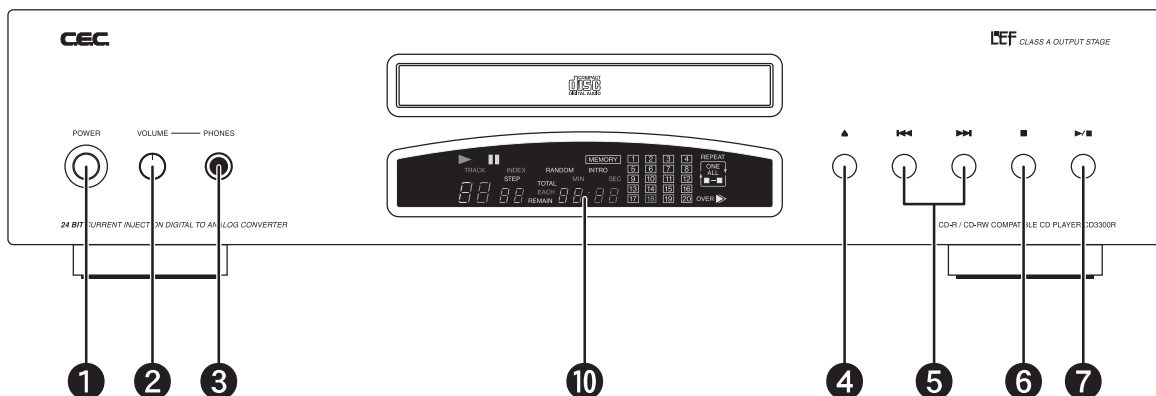
10. 結露現象について

- ・冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、結露がおこることがあり、製品の性能が十分引き出せなくなることがあります。このような場合は、結露の程度にもよりますが1~2時間そのまま放置し、本機を室温に保つようにしてください。結露は徐々になくなります。

11. 演奏を聴くエチケット

- ・音量は、他の人や近隣の迷惑にならないように気を配り、お互いの快い生活環境を乱さないように十分注意しましょう。

フロントパネルの機能



① POWERスイッチ

電源スイッチです。
押すたびにON/OFFが切り替わります。

② VOLUMEつまみ

ヘッドフォンの音量を調整します。

③ HEADPHONE JACK

標準ヘッドホンジャック(φ6.3mm)用の端子です。

④ OPEN/CLOSE

ボタンを押すたびにCDトレイがOPEN/CLOSEします。

⑤ F.B.(|◀◀)・F.F.(▶▶|)

前後の曲に移します。

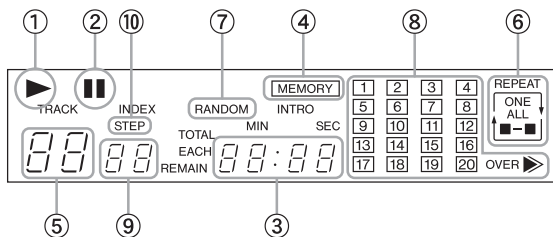
⑥ STOP(■)

演奏を停止します。

⑦ PLAY/PAUSE(▶/||)

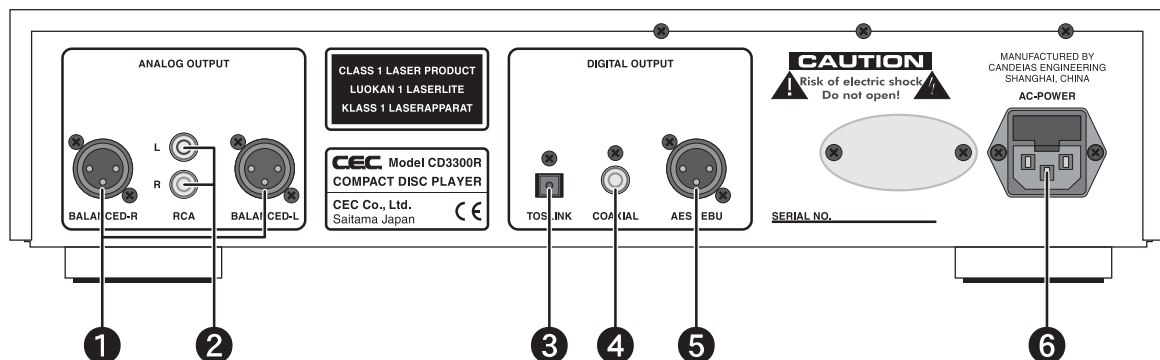
演奏を開始・一旦停止します。

⑩ ディスプレイパネル



- ①プレイインジケータ→プレイモードで点灯します
- ②ポーズインジケータ→ポーズモードで点灯します。
- ③タイムディスプレイ→経過時間・残量時間・経過時間を表示します。
- ④メモリーインジケータ→メモリーモードで点灯します。
- ⑤トラックナンバーディスプレイ→トラックナンバーを表示します。
- ⑥リピートインジケータ→リピートモード(ONE/ALL/A-B)で点灯します。
- ⑦ランダムインジケータ→シャッフルモードで点灯します。
- ⑧ミュージックカレンダー→曲数を表示します。(20曲を超えると“OVER”が表示されます)
- ⑨インデックスインジケータ→インデックス番号を表示します。
- ⑩ステップインジケータ→メモリーモードで点灯し、⑨に曲順を表示します。

リアパネルの機能



① アナログ出力(バランス)

バランス型XLR出力に対応しています(1=GND、2=Hot、3=Cold)

② アナログ出力(アンバランス)

標準的なアンバランス型RCA出力に対応しています。

③ OPTICAL

TOS LINK光ケーブル出力端子。

TOS LINK光デジタル入力端子を搭載したデジタルオーディオ機器と接続してください。

④ AES/EBU

AES/EBUバランス型デジタル出力端子(1=GND、2=Hot、3=Cold)。

AES/EBU(XLR)入力端子を搭載したデジタルオーディオ機器と接続してください。

⑤ COAXIAL

RCA型デジタル出力端子。

COAXIAL(RCA)入力端子を搭載したデジタルオーディオ機器と接続してください。

⑥ AC LINE

付属の電源コードと接続してください。

演奏の仕方

通常演奏

1. POWERスイッチを押して電源を入れます。
2. OPEN/CLOSEボタンを押します。
3. トレイにディスクを乗せます。
※ディスクのレーベル面を上にして乗せてください。
4. OPEN/CLOSEボタンを押します。
※ディスクの総曲数が20曲を超えるとディスプレイ上に“OVER”が表示されます。
5. PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押します。



※表示窓の(▶)とトラックナンバーと経過時間を表示

●一時停止するとき

PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押します。
もう一度押すと再生を再び始めます。

☆再生が終わった曲は、ミュージックカレンダーから消去されていきます。

☆ある1曲をいくつかに分けて番号を付けたものをインデックスといいます(ディスプレイ上は“INDEX”と表示)。本機でインデックスが記憶されたディスクを再生すると記録されているインデックス番号を表示します。インデックスが記録されていないディスクを再生した場合は、“1”を表示します。

●再生を停止する時

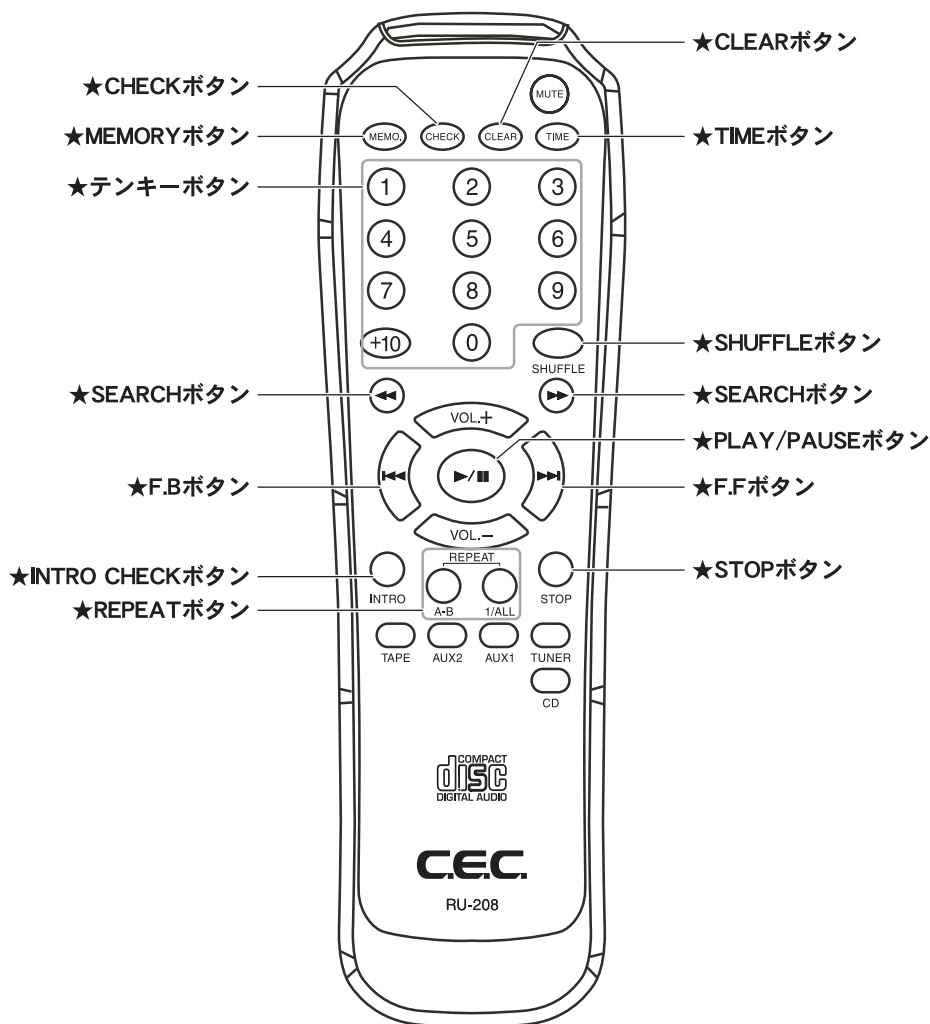
STOPボタン(■)を押します。

●ディスクを取り出す時

OPEN/CLOSEボタンを押します。

※演奏終了後や本体を移動させる時は、ディスクを取り出しておいてください。

リモートコントローラーユニット



※名称説明がないボタンは、弊社AMP3300Rで機能し、本機では機能しません。

●リモコンの使用上の注意

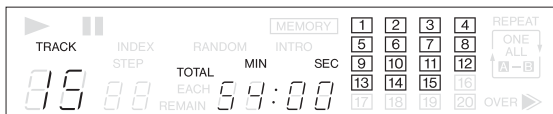
- ・フロントパネルのリモートセンサー部分に直射日光を当てないでください。誤動作の原因となることがあります。
- ・リモートコントロールユニットを操作するとき、送信機と本機との間に障害物があると正しく動作しません。
- ・リモートコントロールを操作するとき、リモコン送信機を本機のリモートセンサー部に向けてください。
- ・電池が消耗するとリモートコントロールは動作しません。この場合は同じタイプの新しい電池と交換してください。
- ・付属のリモートコントロールユニットは、当社CDプレーヤーなどにも共通して使用できますが、この取扱説明書では本機に関する操作だけを説明しております。

リモコン操作について

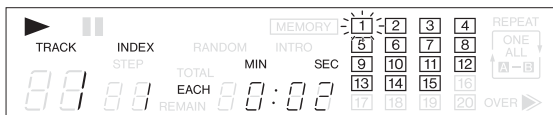
DISPLAY

TIMEボタンを押す後に、ディスプレイの表示が変わります。

停止中：総曲数と総再生時間を表示



再生中：①再生中の曲番と再生中の曲の経過時間を表示



②再生中の曲番と再生中の曲の残り時間を表示



③再生中のディスクの残曲数と残りの再生時間



REPEAT

one/all… 再生中の曲をリピートします(one)、全ての曲をリピートします(all)。

☆リピート再生中にSTOPボタン・A-Bボタン・OPEN/CLOSEボタン・POWERスイッチを押すとリピートモードは解除されます。

☆メモリー再生中は、メモリーされた曲が繰り返し再生されます(all)。

☆シャッフル再生中はREPEAT oneは設定出来ません。

A-B…A-Bボタンを押した所から次にA-Bボタンを押した所までをリピートします。

(例えば、1曲目の途中から2曲目の途中をリピートする事が出来ます)

☆リピートA-Bを設定した後、もう一度A-Bボタンを押すと、リピートA-Bを解除して通常再生を続けます。

☆リピートA-Bを設定する時、最初にA-Bボタンを押し、次にA-Bボタンを押すまでF.Fボタン(▶▶)やSEARCHボタン(▶▶)を押してスキップまたは早送りする事が出来ます。

☆メモリーモード中は、曲をまたいで設定する事は出来ません。

☆イントロチェック・シャッフル再生中は、リピートA-Bを設定することは出来ません。

☆リピートA-Bを設定した後に、REPEATボタン・A-Bボタン・STOPボタン・OPEN/CLOSEボタン・INTRO CHECKボタン・F.F F.Bボタン・テンキー・POWERスイッチを押すとリピートA-Bは解除されます。

CLEAR

メモリーを削除します。

リモコン操作について(つづき)

F.B (|◀◀) F.F (▶▶|)

(▶▶|) 再生または停止中に押すと、押す度に次の曲へスキップします。

(|◀◀) 曲の頭に戻ります。続けて押すと前の曲へスキップします。

☆停止中または一時停止中に押すと、選んだ曲の頭で停止・一時停止状態となります。PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押すと再生が始まります。

☆最後の曲の再生中にFFボタン(▶▶|)を押してもスキップできません。

☆メモリー再生中は、メモリーされた順番に前後の曲にスキップします。

SEARCH (◀◀)(▶▶)

☆再生中にSEARCHボタンを押します。

☆再生音が聞こえますので、ご希望の位置まで押し続けてください。

(▶▶)押している間、早送りします。

(◀◀)押している間、早戻しします。

☆メモリー再生中は、再生中の曲の中でのみ早送り、早戻しします。

☆ディスクまたはメモリーの最終曲の最後まで早送りすると停止します。

PLAY/ PAUSE (▶/||)

一度押すと、演奏を始めます。

もう一度押すと、一時停止します。

更にもう一度押すと演奏を再び始めます。

STOP(■)

再生を停止する時やテンキーなどの入力ミスをした場合に押します。

テンキー

曲を選択します。

停止中に押すと選んだ曲から再生が始まります。

演奏中に曲を選ぶ場合、テンキーを押すとそのまま押した曲にスキップします。

例：10曲目の場合…+10ボタン→0ボタン

20曲目の場合…+10ボタン→+10ボタン→0ボタン

INTRO CHECK

INTRO CHECK ボタンを押すと各曲の冒頭から順番に10秒づつ再生されます。

もう一度INTRO CHECK ボタンを押すと解除されます。

☆イントロチェック中、INTRO CHECKボタンを押すとそこから通常再生になります。

☆通常再生中にINTRO CHECKボタンを押すと次の曲からイントロチェックが始まります(再生を始めてから10秒以内にINTRO CHECKボタンを押すと再生中の曲からイントロチェックが始まります)。

☆イントロチェック中にSEARCHボタン(◀◀)(▶▶)を押しても機能しません。

☆イントロが設定されている場合、停止中にSTOPボタン(■)やINTRO CHECKボタンを押すとイントロチェックは解除されます。

シャッフル再生

SHUFFLE ボタンを押すとディスクの曲がランダムに再生されます (ディスプレイの表示は “RANDOM” です)。

☆停止中にSHUFFLEボタンまたはSTOPボタン(■)を押すとシャッフル再生は解除されます。

☆シャッフル再生中にFFボタン(▶▶)を押すと次の曲がランダムに選択・再生されます。F.Bボタンを押すと再生中の曲の頭に戻ります。既にシャッフル再生が終了した曲へは戻れません。

☆メモリー再生中はシャッフル再生出来ません。

MEMORY

停止状態で行います。

- (1) MEMORYボタンを押します。
 - (2) F.B F.Fボタン(◀◀)(▶▶)を押して希望の曲を選択します。
 - (3) 再びMEMORYボタンを押すと選択した曲が記憶されます。記憶された曲は、ミュージックカレンダーに表示されます。メモリーされた曲数はディスプレイのSTEP番号で表示されます。
※複数メモリーする場合は、(2)と(3)を繰り返し行いMEMORYを続けます。
- ☆最大32曲までメモリー出来ます。32曲を超えるとディスプレイに “FULL” が表示されます。
- ☆リモコンのテンキーで希望の曲を選択する場合、曲番を押した段階でメモリーされていきます。
- (4) メモリーが終わったら、STOPボタン(■)を押します。

プログラム再生

ディスプレイにMEMORYが表示されているときに、PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押すと、メモリーされた曲が順番に再生されます。

通常の再生を行う場合には、停止中にMEMORYを押してMEMORYモードを解除してから操作してください。

MEMORYの確認と修正

確認

CHECKボタンを押すたびに表示窓に曲番・曲順が表示されます。
☆STOPボタン(■)を押すと元の表示に戻ります。

修正

停止中に、CHECKボタンを押して修正したい曲番を出し、テンキーで新しい曲番を押すとメモリーが上書きされます。

削除

全曲削除：CLEARボタンを2秒以上押し続けます。

1 曲削除：CHECKボタンで削除したい曲を選択しCLEARボタンを押します。

☆複数曲を削除する場合は、CHECK→CLEARを繰り返し行ってください。

☆OPEN/CLOSEボタン・POWERスイッチを押すとメモリー内容は消去されます。

保証とアフターサービス

故障かな? と思ったら

本機の調子がおかしいと思ったら、サービスをご依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または当社サービスまでご連絡ください。

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------------------------|---|---|
| POWERスイッチを押しても電源が入らない | 電源プラグの差し込みが不完全 | 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む |
| CD演奏 | | |
| ディスクを入れても演奏できない | ディスクが裏返しになっている | ディスクのラベル面を上にして入れる |
| | ディスクがひどく汚れている | クリーニングする |
| 音が出ない | 出力コードの接続が不完全 | 接続を確認する |
| | アンプ操作を間違えている | アンプのセレクターの位置を確認する |
| ・音飛びがする ・電源を入れると演奏が始まってしまう | ・プレイヤーに振動やショックを与えている ・ディスクが入ったままになっている | ・設置場所を変える ・タイマー演奏以外のときはディスクを取り出してから電源を切る |
| | ディスクがひどく汚れている | クリーニングする |
| ハム音が出る | ピンプラグの接触不良 | ピンプラグをしっかり差し込む |
| チューナーにノイズが入る | 本機とチューナーの設置場所が近すぎている | チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切る |
| リモコン操作できない | 本体の電源が入っていない | POWERスイッチを押す |
| | リモコンに電池が入っていない | 電池を入れる |

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合はPOWERスイッチを押して電源を切り、しばらくしてから再び電源を入れてあらためて操作してください。

保証とアフターサービス

●保証について

- 1.この製品には保証書を別途添付しております。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえで取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
- 2.保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は保証書の記載内容により、ご購入後販売店または弊社が修理いたします。その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 3.保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、ご購入後の販売店または当社にご相談ください。保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
- 4.この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

●サービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、ご購入のお店または弊社サービスセンターにご遠慮なくご相談ください。

- 1.型名、型番
- 2.故障の内容
- 3.ご購入後年月日
- 4.お名前、住所、電話番号



CEC 株式会社 <http://www.cec-web.co.jp>

サービスセンター: (有)エステック修理センター

〒 370-0535 群馬県邑楽郡大泉町寄木戸 1316-5
TEL: 0276-49-5036 FAX: 0276-62-8341